

グリーンインフラ杉並区民会議

第3回 資料



杉並区 都市整備部 土木計画課

グリーンインフラ杉並区民会議

Green Infrastructure Assembly of Suginami

GIAS



グリーンインフラ
杉並区民会議

1. 前回までのふいかえいと 本日の作業説明

ふいかえいと全体の流れ

Ⅰ. 前回までのふりかえり
りと本日の作業説明

【第Ⅰ回】 杉並区の水の現状を知り、グリーンインフラについて考えよう！

10月27日（日） 13：30～16：25 於：高井戸中学校 多目的室 柏の宮公園

- ・杉並区の水の現状や課題、グリーンインフラの考え方を学びました。
- ・柏の宮公園に移動し、グリーンインフラの水の浸み込み易さを観察しました。
- ・作りたいグリーンインフラのアイデアや作れそうな場所について、グループで話し合いました。



ふいかえいと全体の流れ

1. 前回までのふりかえりと本日の作業説明

【第2回】 グリーンインフラの事例 ～雨庭～ をつくってみよう！
12月14（土） 9：30～12：00 於：柏の宮公園 学習室



- ・グリーンインフラのやり方の一つである「雨庭（掘り返して元に戻す）」づくりを体験し、自分の家でもできるように理解を深めました。
 - ・雨庭以外のグリーンインフラの事例やそれらを作れる環境について学びました。
- ※宿題として、身の回りでどこでどんなグリーンインフラができそうか、どうやったら広められるか、続けていけるかを考えてもらうようお願いします。

雨庭：A地点

左図の白い円の箇所が雨庭です。見た目にはほとんどわかりませんが、直径50cm、深さ30cmほどの穴を掘り、柔らかい土で埋め戻しています。周囲の土を少し斜めに削り勾配を設けて降った雨水が流れ込み易い地形としました。

締め固まった土には、雨水が浸み込みにくいことから、掘った土に腐葉土や土壌改良材を混ぜて埋め戻し、雨水が浸み込み易いように土を改良しています。

浸透能 整備前の4倍！

（整備前59mm→整備後264mm）



雨庭：B地点

左図の白い円の箇所です。

見た目にはほとんどわかりませんが、幅50cm、深さ30cmほどの穴を掘ったあと、掘った土に腐葉土や土壌改良材を混ぜて埋め戻し、雨水が浸み込み易いように土を改良しています①。

また、雨庭に水が流れるように水路を掘って埋め戻しています②。もう一つ、雨庭からフェンス奥の林へ水が流れるように水路を掘っています③。

浸透能 整備前の10倍！！

（整備前66mm→整備後663mm）



ふいかえいと全体の流れ

1. 前回までのふりかえりと今日の作業説明

雨庭:C地点

左図の白い円の箇所です。

- ①:幅30cm、長さ右図参照、深さ30cmの穴を掘ったあと、しがら(枝を組んだもの)を敷いています。
- ②:同様の穴を掘ったあと、掘った土に腐葉土や土壌改良材を混ぜて埋め戻し、雨水が浸み込み易いように土を改良しています。
- ③:同様の穴を掘ったあと、碎石を敷いています。

浸透能 整備前の6倍(②箇所)!!

(整備前203mm→整備後1,277mm)



雨庭:D地点

左図の白い円の箇所です。

植木の方へ水が流れるように、水路を掘っています。また、植木の中に穴を掘って落ち葉で埋め戻しています。

浸透能 — (土の改良なし)

(雨のあとに水たまりがなくなりました)



雨庭:E地点

左図の白い円の箇所です。

見た目にはほとんどわかりませんが、深さ30cmほどの穴を掘ったあと、掘った土に腐葉土や土壌改良材を混ぜて埋め戻し、雨水が浸み込み易いように土を改良しています。

浸透能 整備前の51倍!!!

(整備前33.8mm→整備後1,714mm)



【第3回】 杉並区らしいグリーンインフラのビジョンを話し合おう！

2月2日（日） 13：00～15：45 於：杉並区役所中棟6階 第4会議室

時間				プログラム
13:00	-	13:05	(5分)	【開会】 イントロダクション 本日の作業説明
13:05	-	13:15	(10分)	【前回までの会議内容のふりかえり】 豪雨などの課題へのGI活用の考え方を学び、雨庭を実践してきました
13:15	-	13:25	(10分)	【島谷先生からの話題提供】 グリーンインフラの第一人者である熊本県立大学の島谷幸宏特別教授より、推進に必要なもの（共創など）をお話しいただきます
13:25	-	13:45	(20分)	【杉並区のグリーンインフラの可能性の紹介（座学）】 実践事例や活動できそうな場所（ポテンシャルマップ）を紹介します
13:45	-	14:55	(70分)	【杉並区のグリーンインフラビジョンを話し合おう】 ○セッション1 どこでどんなグリーンインフラをやりたいか（場所、やり方など）、また何でやりたいと思ったのかを話し合ってみよう ○セッション2 進めていくために欲しいもの（人、道具、資金、体制などの支援）を考えよう。また、目指したいグリーンインフラのまちについて、キャッチコピーを考えてみよう ※グループごとに、適宜休憩してください。
14:55	-	15:05	(10分)	休憩・発表準備
15:05	-	15:45	(40分)	【成果発表】 各班8分（発表5分、質疑3分）でアイデアを発表します
15:45	-	15:55	(10分)	【とりまとめ・総評】 島谷先生より全体の総評をいただきます
15:55	-	16:00	(5分)	【ビジョンのとりまとめ、今後の予定などの事務連絡】
16:00				【閉会】

2. 島谷先生からの 話題提供

しまたに ゆきひろ

島谷 幸弘 特別教授

熊本県立大学 地域共創拠点運営機構 機構長



1955年 山口県下関市生まれ
建設省土木研究所、国土交通省九州地方整備局
武雄河川事務所長を経て九州大学 教授
現在、熊本県立大学特別教授、大正大学特任教授

専門分野

河川工学、合意形成、自然再生、マイクロ水力

主な研究テーマ

流域治水を核とした復興を起点とする持続社会
学会での活動状況
湿地学会、応用生体工学会、土木学会



令和6年5月20日に杉並区と上記の研究プロジェクトは、グリーンインフラを活用した流域治水の取組の推進について連携協定を締結しています。

3. 杉並区のグリーン インフラの可能性の紹介 (グリーンインフラ事例)

1. グリーンインフラとは(以下、再掲)

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

- グリーンインフラストラクチャーのこと。「グリーン」は自然を意味するもの、「インフラストラクチャー」は道路などの生活を支える基盤を意味することばです。
- グリーンインフラは、みどりや土、生物などの自然環境が持っているいろんな力を活用して、社会の様々な課題を解決しようという考え方」です。

たとえば、踏み固めた何も無い空地だと・・・

①雨水は浸み込む？

・・・浸み込みにくいよね

③みんな遊びに行きたい？

・・・寄ってこないよね

②生き物は暮らせる？

・・・暮らしにくいよね

④気分よく過ごせる？

・・・気分よくないよね

などなど

1. グリーンインフラとは

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

・・・だけど、グリーン(自然)があればどうかな？

①雨水は浸み込む？

・・・浸み込みやすいよね

<水害対策に貢献>

③みんな遊びに行きたい？

・・・遊びに行きたいよね

<にぎわい創出に貢献>

<地域交流にも貢献>

④気分よく過ごせる？

・・・気持ちいいよね

<健康増進に貢献>

②生き物は暮らせる？

・・・暮らしやすいよね

<生物多様性に貢献>

<環境教育にも貢献>

そのほかにも

<CO₂の削減に貢献>

<暑さ対策に貢献>

などなど。このように水害対策だけでなく他の様々な効果も同時に得られます。
ただし、外来種の侵入とか悪いこと(外部不経済)には注意が必要です。

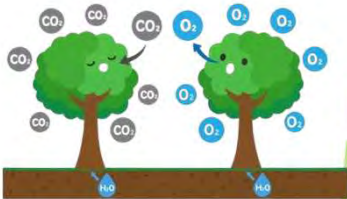
2. グリーンインフラの様々な効果

3. 杉並区のグリーンインフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

まとめると・・・



蒸発散などの自然界が持つ水循環機能にて緩和する。



温室効果ガスCO₂の吸収源となり、温暖化対策に寄与する。



自然や歴史・文化等の地域資源に触れられる空間となり、にぎわいづくりや経済の活性化に寄与する。



①水害対策
(流出抑制)

雨水が浸み込む空間となり、水害対策(流出抑制)や水循環の健全化に寄与する。



出典: 国交省

②水循環健全化



動物、植物が暮らせる空間となり、色々な種類の生き物が増える。

出典: 環境省

③生物多様性保全

④コミュニティ
活性化
(地域交流)



みんなが集まりたくなる空間となり、地域・世代間交流や色々な人同士の繋がりが増える。

⑧ヒートアイランド対策

⑦CO₂削減

⑥地域の
魅力づくり
(にぎわい創出)

⑤健康増進

自然が持つ
多機能

森林浴や散歩など、自然を五感で感じられる空間となり、ストレス発散や健康増進に寄与する。

3. グリーンインフラの事例の見方

3. 杉並区のグリーンインフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

事例の名前を書いています。

期待される効果を青文字で示しています。

使えそうな空間のところに「○」をつけています。

4. 事例①: レインガーデン(雨庭)

3. 杉並区のグリーンインフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果		使える空間		
雨水が浸み込み易くなるように土壌を改良するものです。水害対策に貢献するほか、地表の植栽を工夫することによって生き物の住処をつくり、生物多様性の向上にも繋がります。見る人を魅了し、癒し効果が期待できるほか、庭園のように美しい景観づくりを行うことで、魅力づくり・賑わい創出にも繋げることができます。緑や水辺空間は涼しいですね、ヒートアイランド対策(暑さ対策)にも貢献できます。	【効果】 ①水害対策(流出抑制) ②水循環健全化 ③CO₂削減 ④ヒートアイランド対策 ⑤健康増進 ⑥地境の影でつくりだす涼しい空間 ⑦生物多様性保全	①緑地	②公園	③庭
		④農地	⑤空き地	⑥社寺林
左上に文章で解説を示しています。また左下に写真等を用いて示しています。	出典: グリーンインフラ技術集(令和6年3月版) グリーンインフラ官民連携プラットフォーム技術部会 / 大和ハウス工業株式会社/一般社団法人グリーンインフラ総研	⑦河川・水辺	⑧道路・緑道	⑨駐車場
		⑩学校	⑪その他建物	⑫広場
		⑬商店街	⑭駅・駅前	⑮池・湖

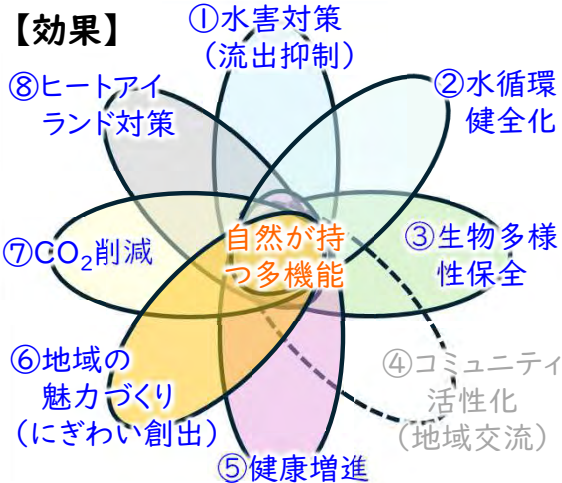
雨庭以外にどんな考え方があって、どんな場所で使えそうかを紹介します。
これらをヒントに、身の回りで具体的にできそうな場所を探してみてください。

4. 事例①:レインガーデン(雨庭)

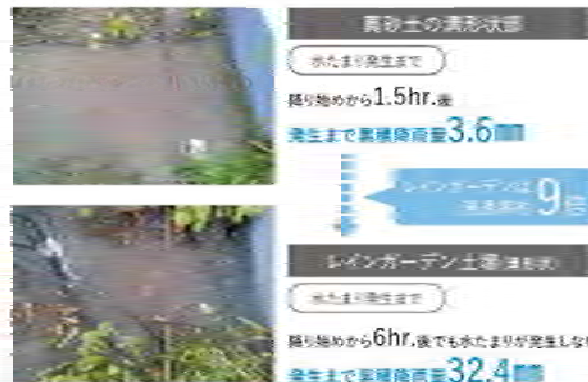
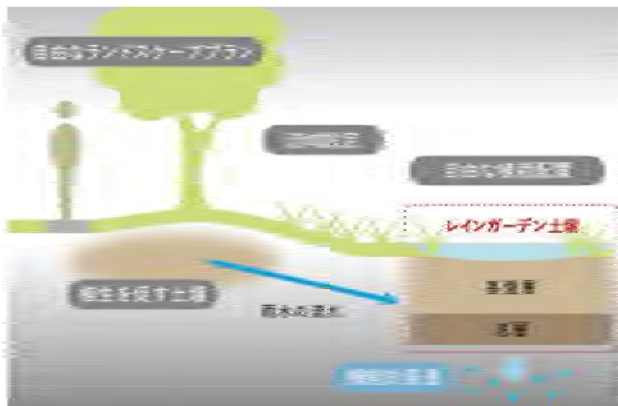
3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果

雨水が浸み込み易くなるように土壌を改良するものです。水害対策に貢献するほか、地表の植栽を工夫することによって生き物の住処をつくり、生物多様性の向上にも繋がります。見る人を魅了し、癒し効果が期待できるほか、庭園のように美しい景観づくりを行うことで、魅力づくり・賑わい創出にも繋げることができます。緑や水辺空間は涼しいですね、ヒートアイランド対策(暑さ対策)にも貢献できます。



使える空間



レインガーデン土壌は真砂土に比べ、降雨1週間後の含水率が約2倍です。

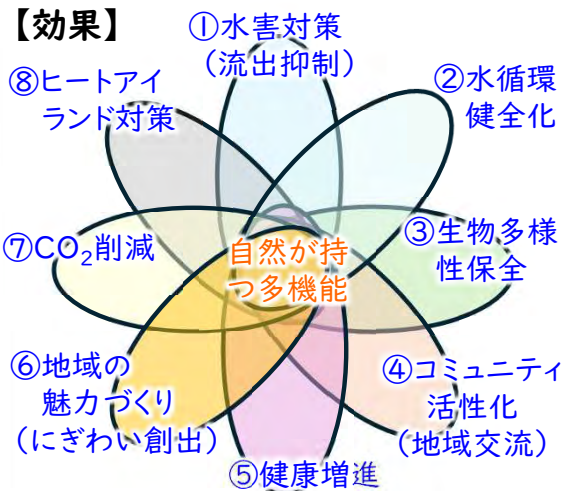


5. 事例②: バイオスウェル(緑の溝)

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果

雨水が自然に池に流れ込むような細長い雨庭のようなもので、浸透によって水害対策に貢献するものです。側溝に砂利を入れた基本的なやり方のほか周囲に多様な植栽を行うことで、生物多様性が向上します。歩行空間やベンチ等を組み合わせることで滞在空間を確保すれば、コミュニティ活性化や健康増進、魅力づくり・にぎわいの創出にもつながります。緑や水辺空間は涼しいですよ、ヒートアイランド対策にも貢献できます。



使える空間

①緑地



②公園



③庭



④農地



⑤空き地



⑥社寺林



⑦河川・水辺



⑧道路・緑道



⑨駐車場



⑩学校



⑪その他建物



⑫広場



⑬商店街



⑭駅・駅前



⑮池・湖



6. 事例③:透水性舗装・土壌改良

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

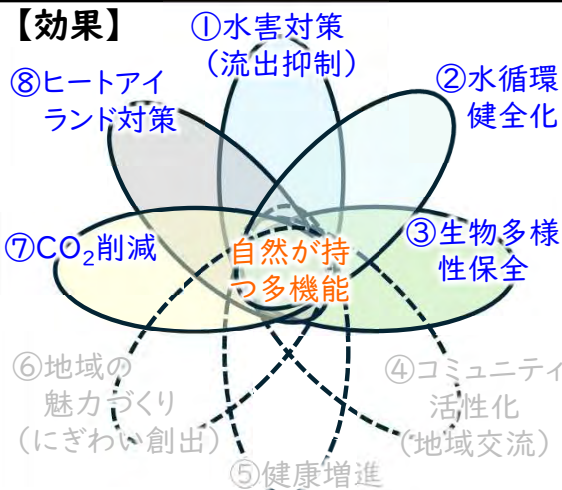
解説と期待される効果		使える空間		
雨水が浸み込み易くなるように土に添加剤を配合し、土を団粒構造(土の粒を作り水を通りやすくする)に変えて透水性と保水性を向上させるものです。これによって水害対策に貢献するほか、保水性の向上によって、ヒートアイランド対策にもつながります。	【効果】	①緑地	②公園	③庭
		④農地	⑤空き地	⑥社寺林
		⑦河川・水辺	⑧道路・緑道	⑨駐車場
		⑩学校	⑪その他建物	⑫広場
		⑬商店街	⑭駅・駅前	⑮池・湖

7. 事例④：グリーントレンチ落葉マルチ工法

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果

雨水を浸み込み易く、また溜め易くするため、土壌改良と通気・透水管の設置を行うものです。これによって、水害対策に貢献します。また、表面を落葉で覆うことで土壌の動物を元気にし、生物多様性の向上につながるほか、樹木の健全化にも繋がるため、ヒートアイランド対策やCO₂削減にも貢献します。



使える空間

①緑地



②公園



③庭



④農地



⑤空き地



⑥社寺林



⑦河川・水辺



⑧道路・緑道



⑨駐車場



⑩学校



⑪その他建物



⑫広場



⑬商店街



⑭駅・駅前



⑮池・湖



写真 縦穴工法の土壌改良



写真 通気透水管の敷設



写真 落葉マルチによる土壌改良

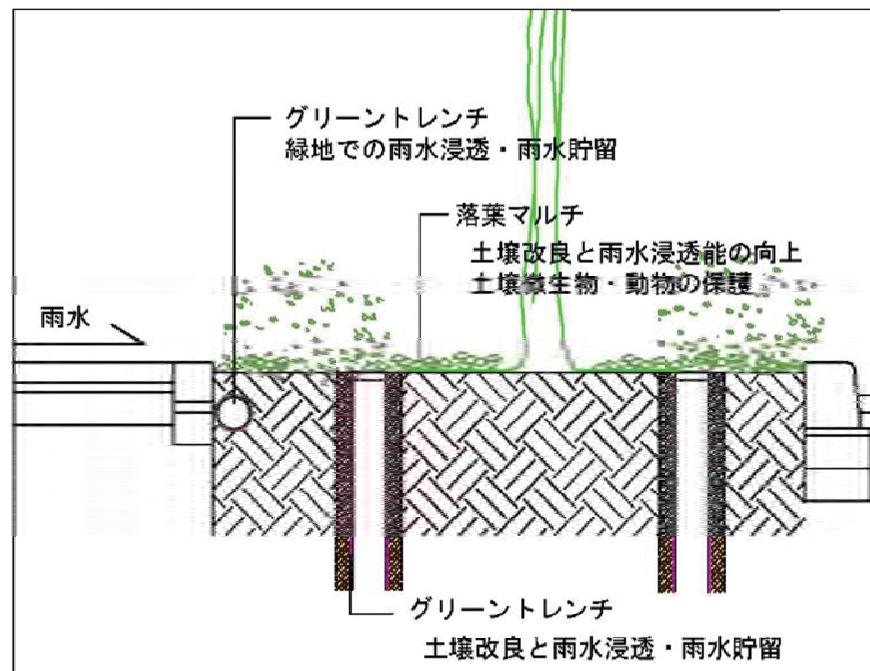


図 GT落葉マルチ工法の断面イメージ

8. 事例⑤:壁面緑化

3. 杉並区のグリーン インフラの可能性の紹介 (グリーンインフラ事例)

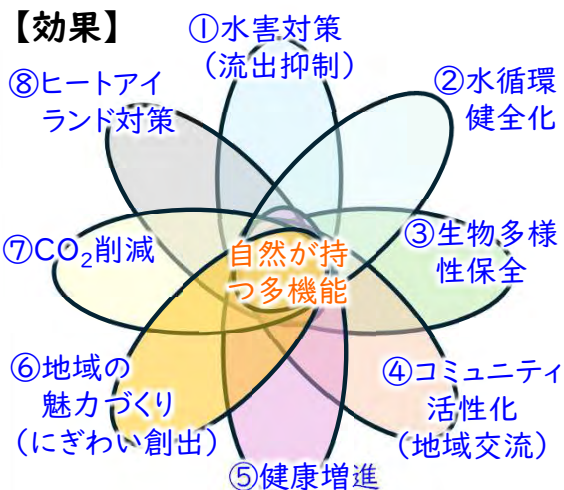
解説と期待される効果		使える空間			
建物の壁面において、ツル植物と木質ルーバー（木柵のようなもの）を組み合わせることで、見た目をよくしながら、日当たりと風をコントロールするもので、プランターを組み合わせることで、雨水の一時貯留ができ、水害対策に貢献します。また生き物の住処となり、生物多様性の向上につながるほか、ヒートアイランド対策、CO₂固定にもつながります。	【効果】	①緑地	②公園	③庭	
		④農地	⑤空き地	⑥社寺林	
	⑦河川・水辺			⑧道路・緑道	⑨駐車場
	⑩学校			⑪その他建物	⑫広場
	⑬商店街			⑭駅・駅前	⑮池・湖

9. 事例⑥: エコグリーンロード

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果

雨水を貯める植栽と舗装路盤を使用した街路樹や休憩できるベンチのある緑道です。雨水を貯める点で、水害対策に貢献するほか、生き物の住処となり、生物多様性の向上にも繋がります。また、人が訪れ、滞在することからコミュニティ活性化や地域の魅力・賑わいづくり、更には緑陰が快適な空間、ヒートアイランド対策、CO₂固定にもつながります。



使える空間

①緑地



②公園



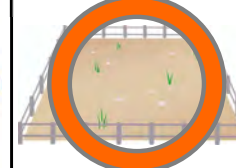
③庭



④農地



⑤空き地



⑥社寺林



⑦河川・水辺



⑧道路・緑道



⑨駐車場



⑩学校



⑪その他建物



⑫広場



⑬商店街



⑭駅・駅前



⑮池・湖

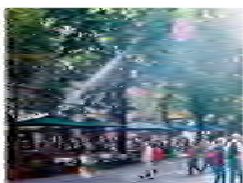


写真 エコグリーンロードのイメージ (ベルリン)

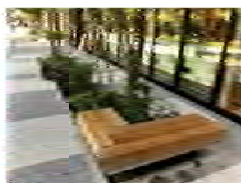


写真 緑陰のある歩道のベンチとオープンテラス (立川市内)



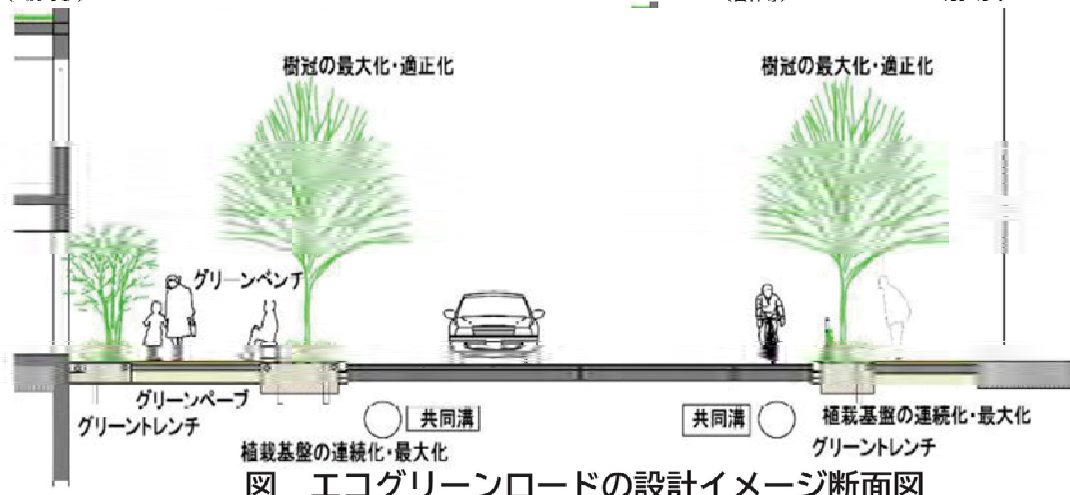
写真 街路樹へのベンチの設置 (吉祥寺)



写真 基礎が不要の樹木保護兼用のTLCベンチ

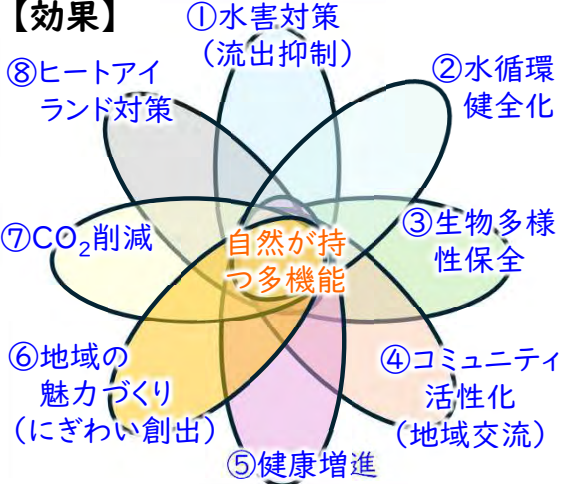
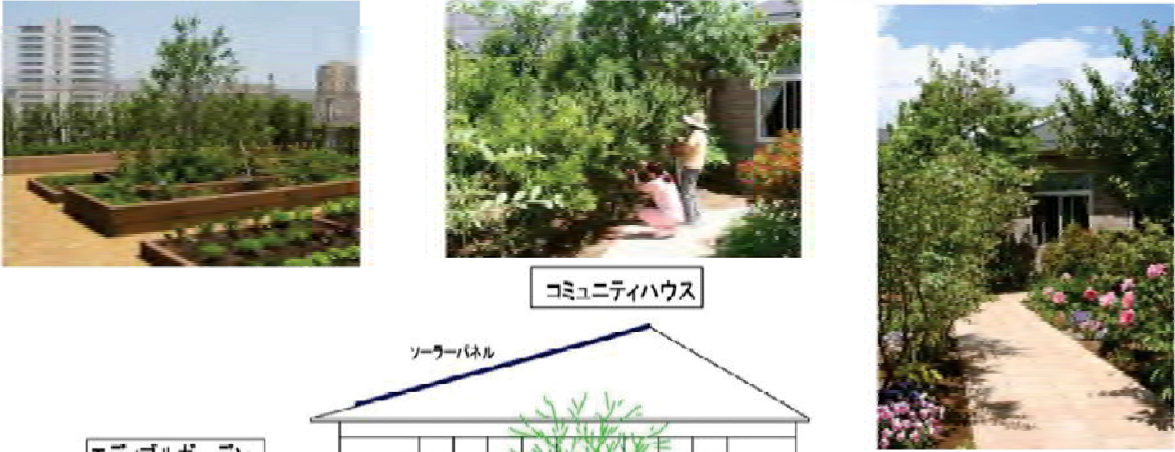
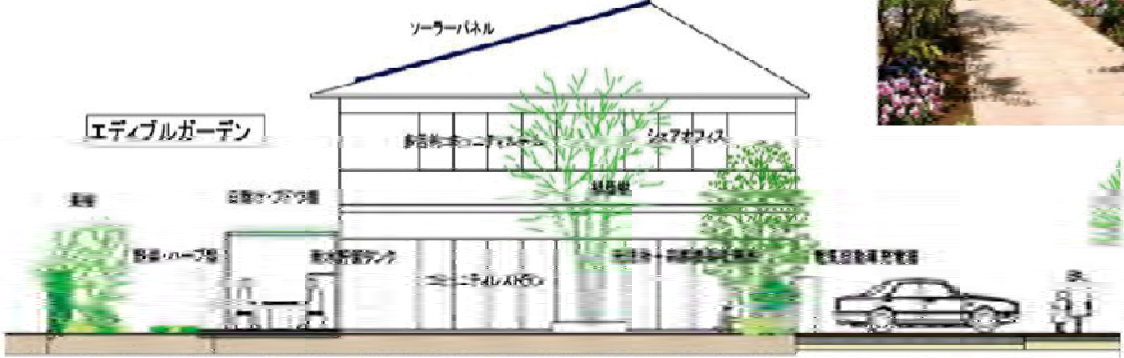


写真 基礎が不要の樹木保護兼用のTLCベンチ



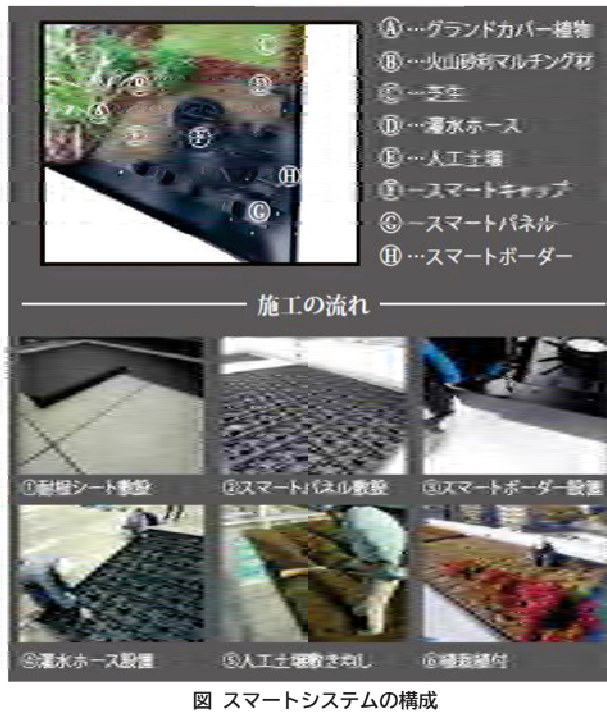
10. 事例⑦: エディブルガーデン

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果	使える空間
野菜やハーブ、果樹など食べられる植物を主体に植えられたガーデンです。浸透能があるため水害対策に貢献するほか、新たな生き物の住処となり、生物多様性の向上にもつながります。そのほか活動仲間によるコミュニティ活性化、賑わいづくり、活動中の日光浴による健康増進、遮熱によるヒートアイランド対策、CO₂固定にもつながります。 【効果】  ①水害対策(流出抑制) ②水循環健全化 ③生物多様性保全 ④コミュニティ活性化(地域交流) ⑤健康増進 ⑥地域の魅力づくり(にぎわい創出) ⑦CO₂削減 ⑧ヒートアイランド対策	①緑地 ②公園 ③庭 ④農地 ⑤空き地 ⑥社寺林
 コミュニティハウス  図 エディブルガーデンの設計イメージ断面図	⑦河川・水辺 ⑧道路・緑道 ⑨駐車場 ⑩学校 ⑪その他建物 ⑫広場 ⑬商店街 ⑭駅・駅前 ⑮池・湖

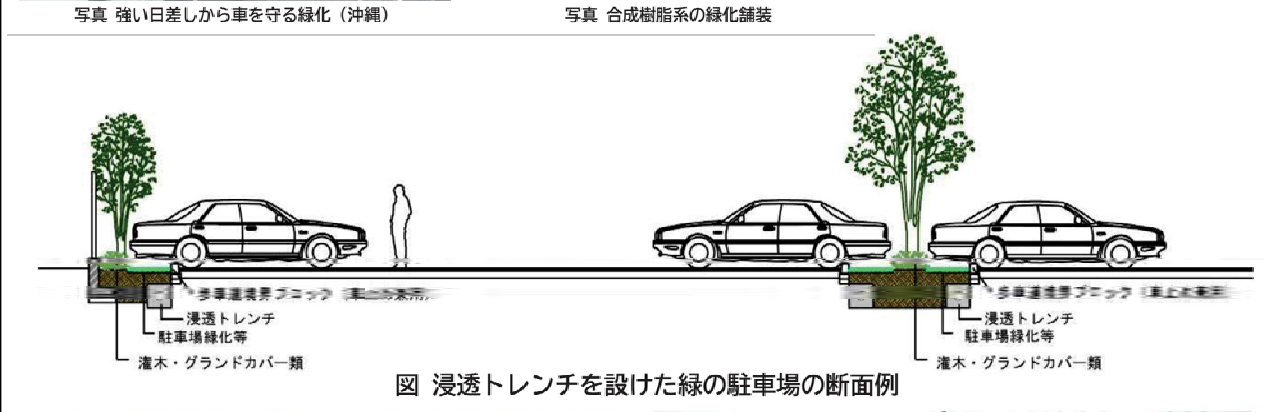
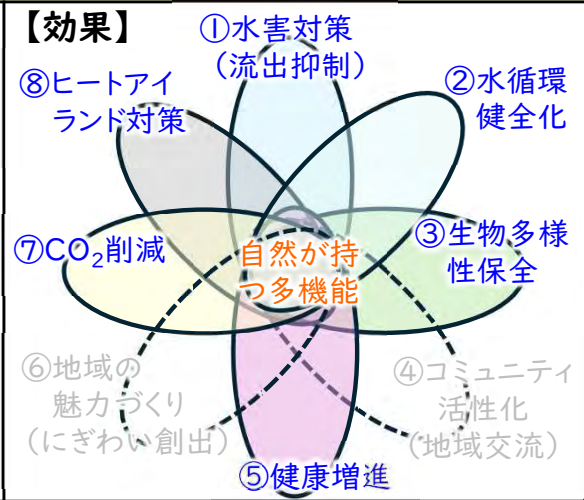
11. 事例⑧: 屋上緑化

解説と期待される効果	使える空間
建物の屋上を緑化するものです。降った雨水を一時的に貯留することもでき、水害対策に貢献します。また、新たな生き物の住処となり、生物多様性の向上にもつながります。そのほか活動仲間によるコミュニティ活性化、賑わいづくり、活動中の日光浴による健康増進、遮熱によるヒートアイランド対策、CO₂固定にもつながります。	【効果】 ①緑地 ②公園 ③庭 ④農地 ⑤空き地 ⑥社寺林
	⑦河川・水辺 ⑧道路・緑道 ⑨駐車場 ⑩学校 ⑪その他建物 ⑫広場 ⑬商店街 ⑭駅・駅前 ⑮池・湖



12. 事例⑨: レインパーキング

解説と期待される効果	使える空間
車止め部分の後部部分を緑化し、浸透トレンチ(溝)や通気・透水管を敷設するものです。水が浸み込み易いことから水害対策に貢献します。また、緑の植栽により生き物の住処となり、生物多様性の向上にも繋がります。そのほか、緑陰により快適な空間が形成され健康増進につながるほか、ヒートアイランド対策、CO₂固定にもつながります。	①緑地 ②公園 ③庭 ④農地 ⑤空き地 ⑥社寺林
写真 強い日差しから車を守る緑化 (沖縄) 写真 合成樹脂系の緑化舗装	⑦河川・水辺 ⑧道路・緑道 ⑨駐車場
図 浸透トレンチを設けた緑の駐車場の断面例	⑩学校 ⑪その他建物 ⑫広場 ⑬商店街 ⑭駅・駅前 ⑮池・湖



13. 事例⑩:ビオトープ+雨庭

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果	使える空間
生き物の住処であるビオトープと雨庭を組み合わせたものです。水が浸み込み易いことから水害対策に貢献するほか、落ち葉を敷くことで、土壌生物の活性化やそのほか生き物の住処となり、生物多様性の向上につながります。そのほか、維持管理のつながりからコミュニティ活性化、また都心部であれば暑熱環境改善にてヒートアイランド対策にも貢献します。	【効果】 ①水害対策 (流出抑制) ②水循環 健全化 ③生物多様性 保全 ④コミュニティ 活性化 (地域交流) ⑤健康増進 ⑥地域の 魅力づくり (にぎわい創出) ⑦CO₂削減 ⑧ヒートアイランド対策 自然が持つ多機能
	④農地 ⑤空き地 ⑥社寺林 ⑦河川・水辺 ⑧道路・緑道 ⑨駐車場 ⑩学校 ⑪その他建物 ⑫広場 ⑬商店街 ⑭駅・駅前 ⑮池・湖

出典:グリーンインフラ技術集(令和6年3月版) グリーンインフラ官民連携プラットフォーム技術部会
/株式会社大林組

14. 事例⑪: ストリートプランツ

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果	使える空間
アスファルト舗装の道路等において、プランターを配置するものです。一時的に水を溜めることで水害対策に貢献します。また、緑の空間が創出され、生き物の住処となり、生物多様性の向上につながるほか、人々の休息空間にもなりコミュニティ活性化や賑わいの創出に、また暑熱環境改善により快適な空間となり健康増進に貢献するほか、ヒートアイランド対策にもつながります。	【効果】 ①緑地 ②公園 ③庭 ④農地 ⑤空き地 ⑥社寺林
	⑦河川・水辺 ⑧道路・緑道 ⑨駐車場 ⑩学校 ⑪その他建物 ⑫広場 ⑬商店街 ⑭駅・駅前 ⑮池・湖

出典: グリーンインフラ事例集(令和6年3月版) グリーンインフラ官民連携プラットフォーム企画広報部会

/ 一般社団法人アーバンデザインセンター大宮、WOODSMART、(有)秀花園、さいたま市、中央通り新栄会、芝浦工業大学、UDC78

15. 事例⑫:多自然川づくり

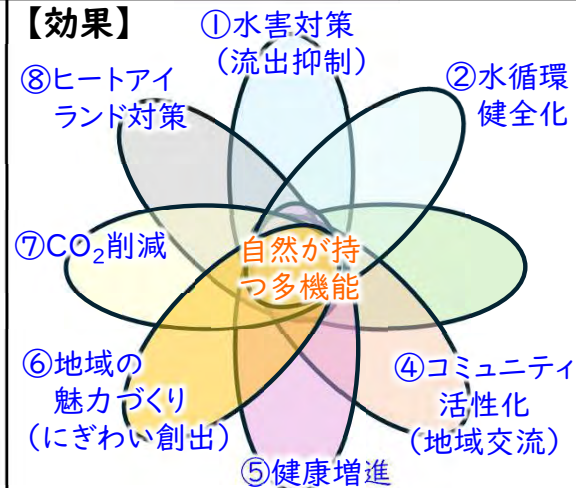
3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うことです。

善福寺公園の遅野井川親水施設は、人が入れない水路でしたが、地域の小学校、環境団体らの協働により多自然川づくりを取り入れ再生した事例です。

【効果】



使える空間

①緑地



②公園



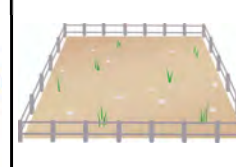
③庭



④農地



⑤空き地



⑥社寺林



⑦河川・水辺



⑧道路・緑道



⑨駐車場



⑩学校



⑪その他建物



⑫広場



⑬商店街



⑭駅・駅前



⑮池・湖



16. 事例⑬：湿地型遊水池

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(グリーンインフラ事例)

解説と期待される効果		使える空間		
河川の氾濫を抑制するために増水時に一時的に河川の流水を貯留する遊水池を、多自然川づくりの考え方により、生物多様性や地域の利用、文化に配慮した湿地型の遊水池として整備することができます。 在来の魚類、貝類、鳥類、昆虫が生息・繁殖できる他、湿地植物の生息地およびシードバンク(種の保存場所)としても機能し、子どもの遊び場にもなります。	【効果】 ①水害対策(流出抑制) ②水循環健全化 ④コミュニティ活性化(地域交流) ⑤健康増進 ⑥地域の魅力づくり(にぎわい創出) ⑦CO₂削減 ⑧ヒートアイランド対策 自然が持つ多機能	①緑地	②公園	③庭
		④農地	⑤空き地	⑥社寺林
		⑦河川・水辺	⑧道路・緑道	⑨駐車場
		⑩学校	⑪その他建物	⑫広場
		⑬商店街	⑭駅・駅前	⑮池・湖

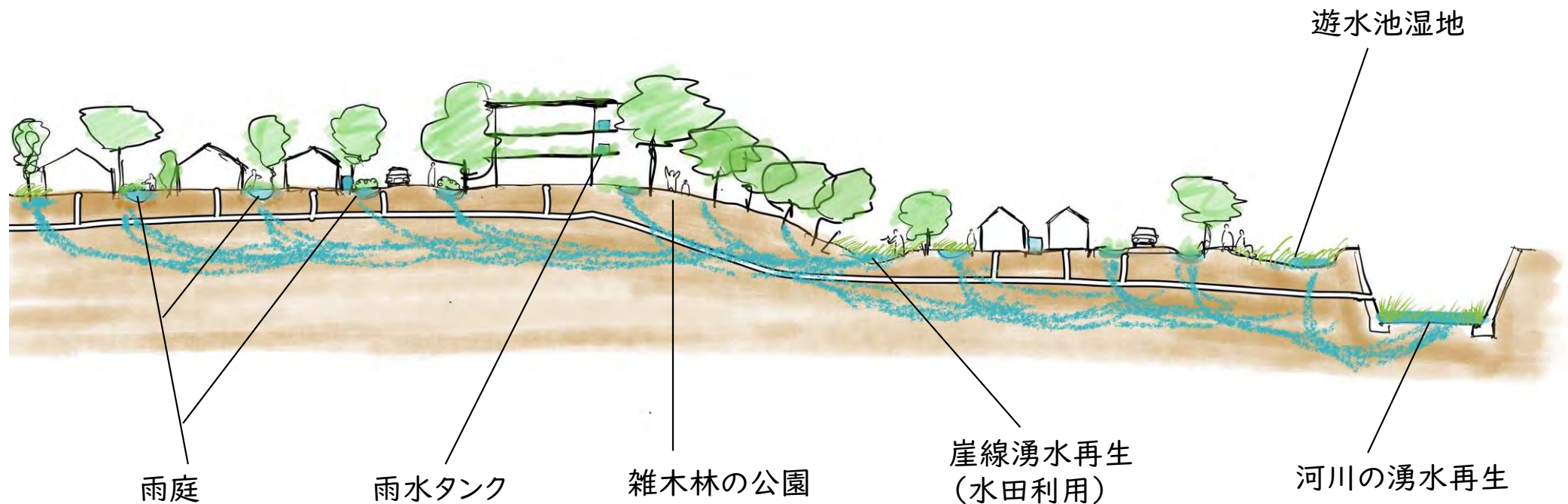
出典：「アザメの瀬の記録」アザメの瀬検討会（NPOアザメの会、地域住民、九州大学、唐津市、武雄河川事務所）、
国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所https://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/azame/azame_oshirase/kiroku.html

3. 杉並区のグリーン インフラの可能性の紹介 (地形断面図)

10. 杉並区の水循環健全化イメージ

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

河川、低地、崖線、台地の上に成立する都市である杉並区において、
多様なタイプのグリーンインフラが発現し、流域内での流出抑制が推進・連動され
ることにより、水循環も健全化し、生物多様性や社会の諸々の便益に貢献する。

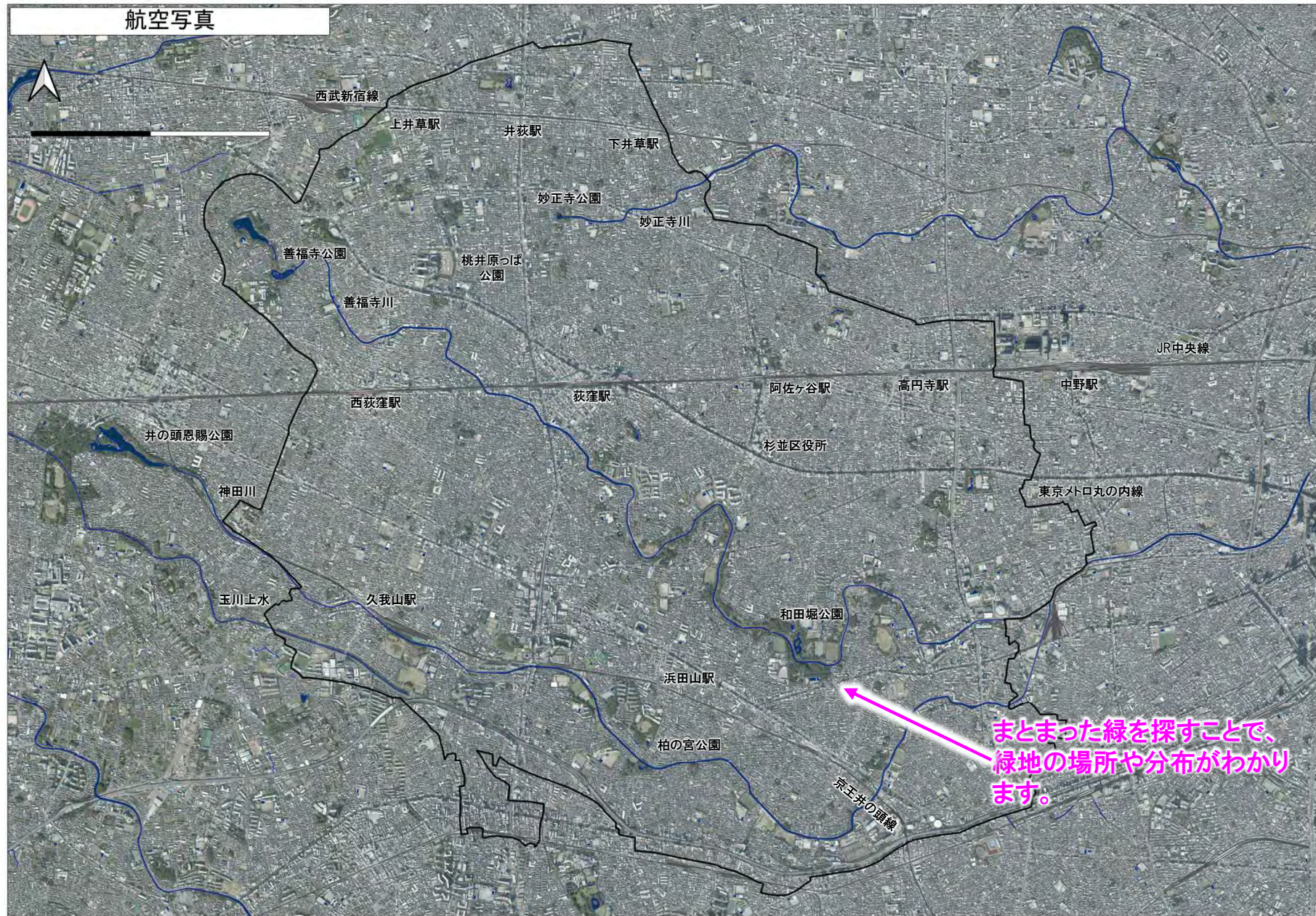


3. 杉並区のグリーン インフラの可能性の紹介 (ポテンシャルマップ)

1. 土地利用状況(航空写真)

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

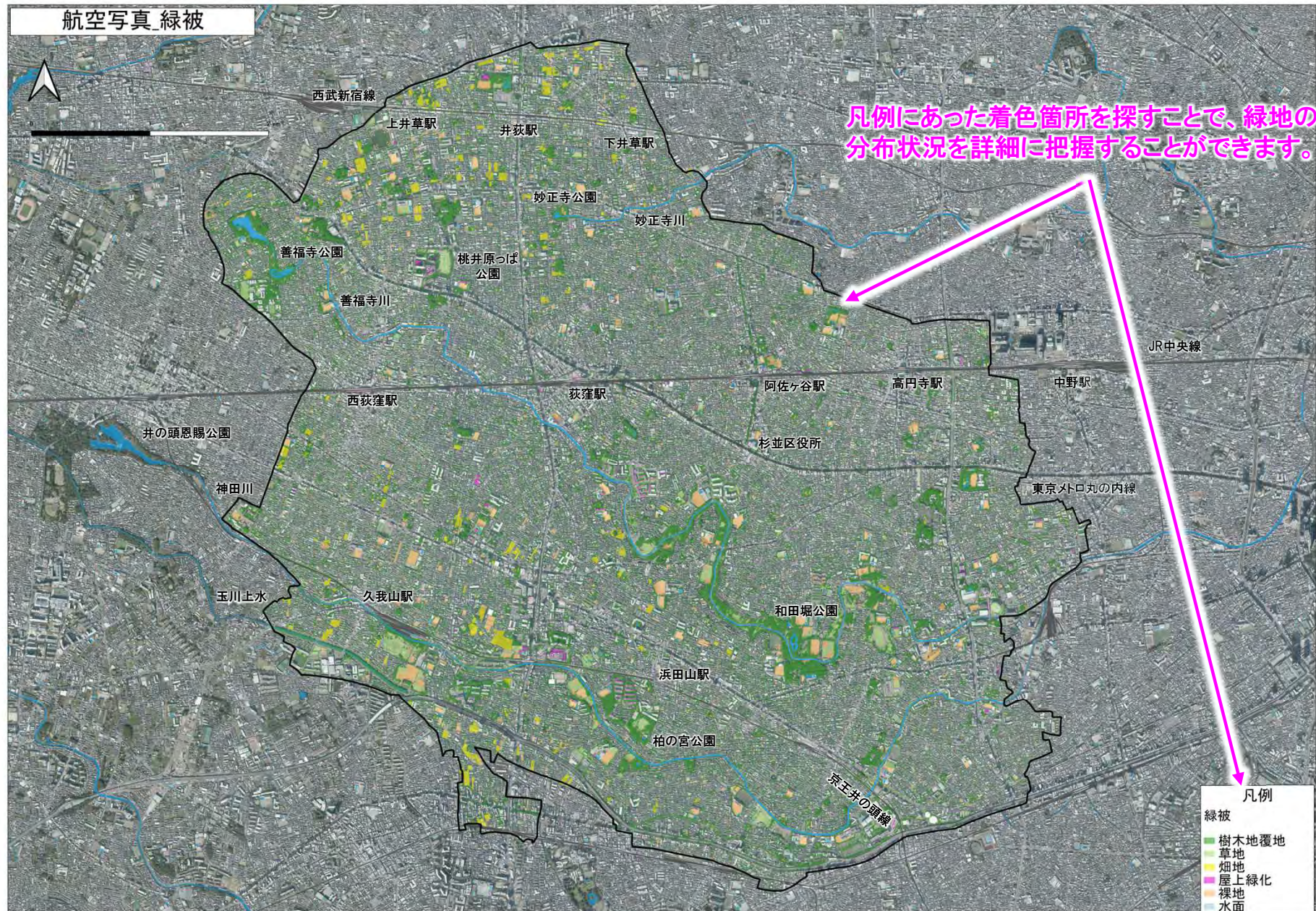
・杉並区全域の航空写真です。緑の場所を探すことで、公園緑地や屋敷林などの緑地の分布状況を把握することができます。



2. 土地利用状況(緑被情報)

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

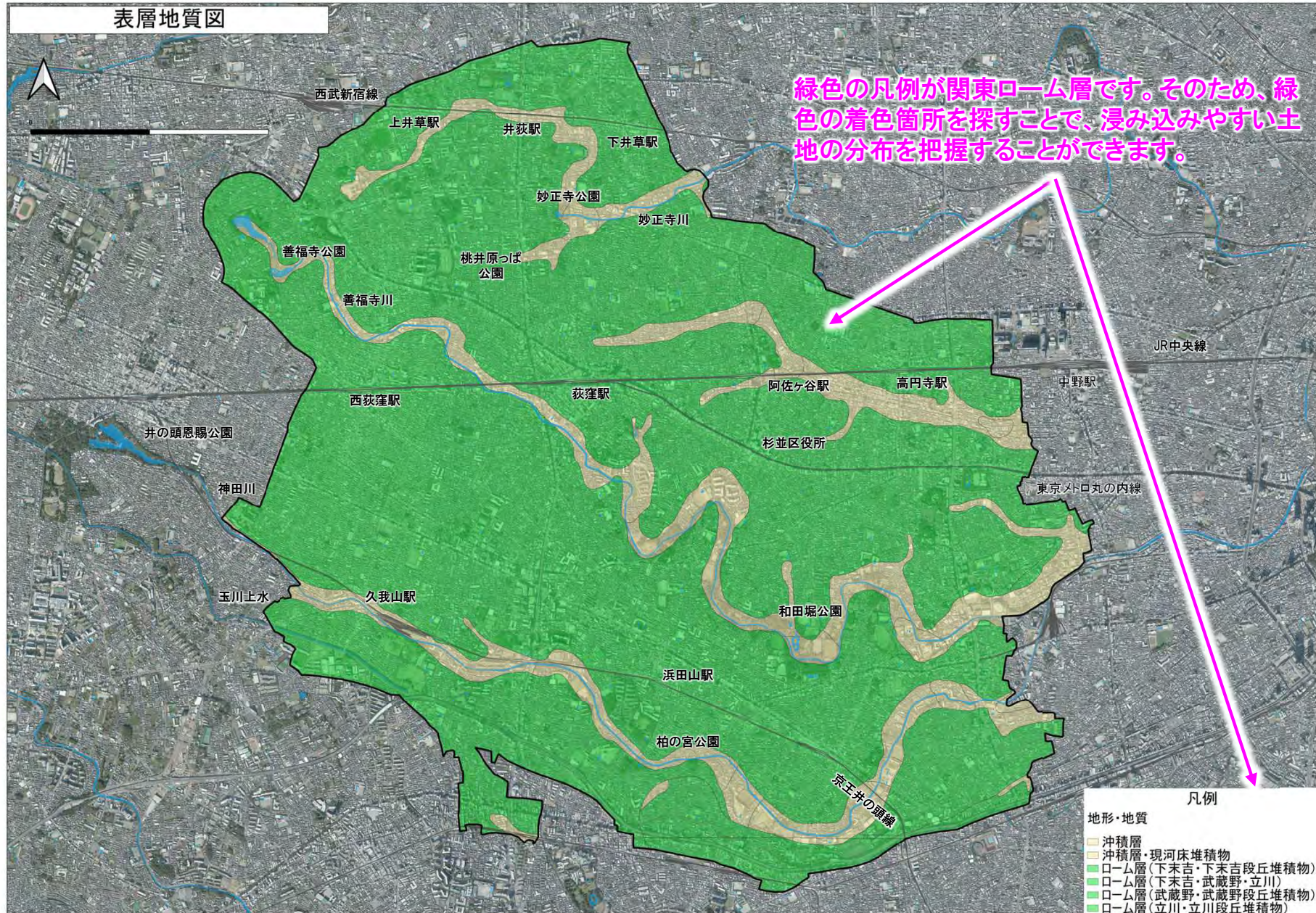
・緑地について、樹林地なのか、草地なのか、あるいは屋上緑化なのかなどを色を分けて整理しています。それらの分布状況を詳細に把握することができます。



3. 土地利用状況(地質情報)

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

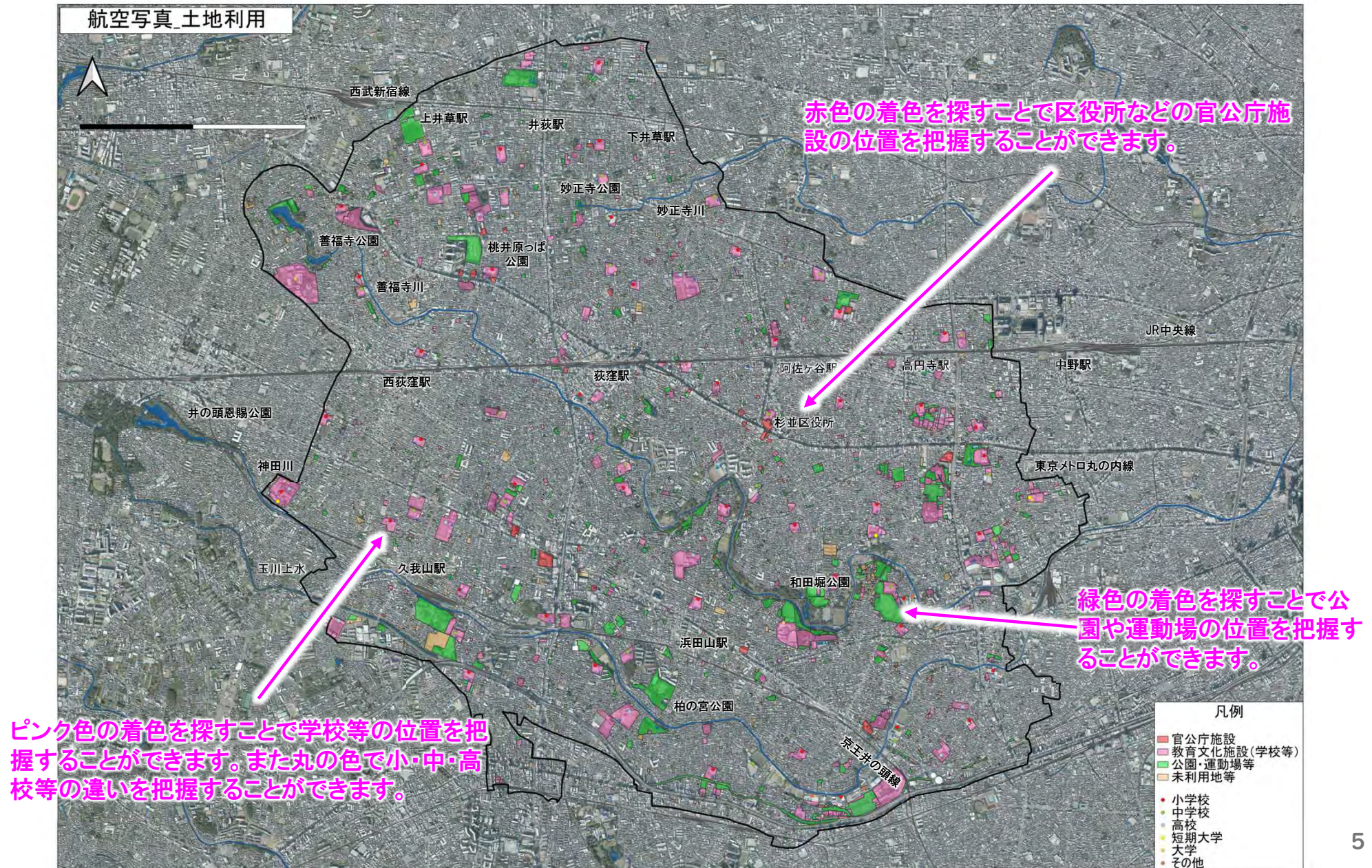
・関東ローム層の分布を整理しています。関東ローム層は浸み込み易い地質です。地質を確認することで浸み込み易い土地かどうかを把握することができます。



4. 土地利用状況(土地利用情報)

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

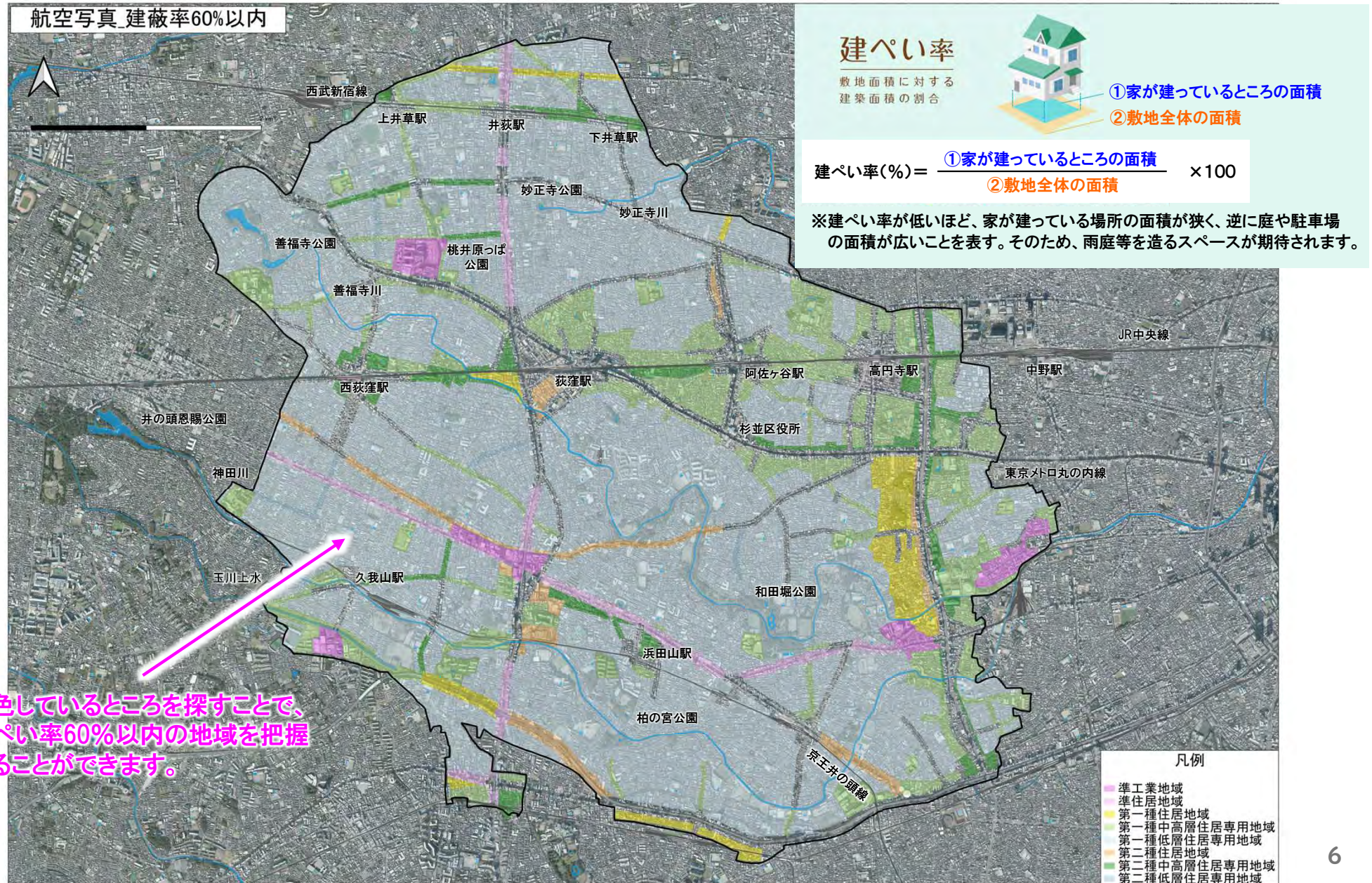
・公共施設や学校、公園等の分布を整理しています。今回のWSのようにみんな
で取り組み易い土地かどうか(公共空間かどうか)を把握することができます。



5. 土地利用状況(土地利用情報)

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

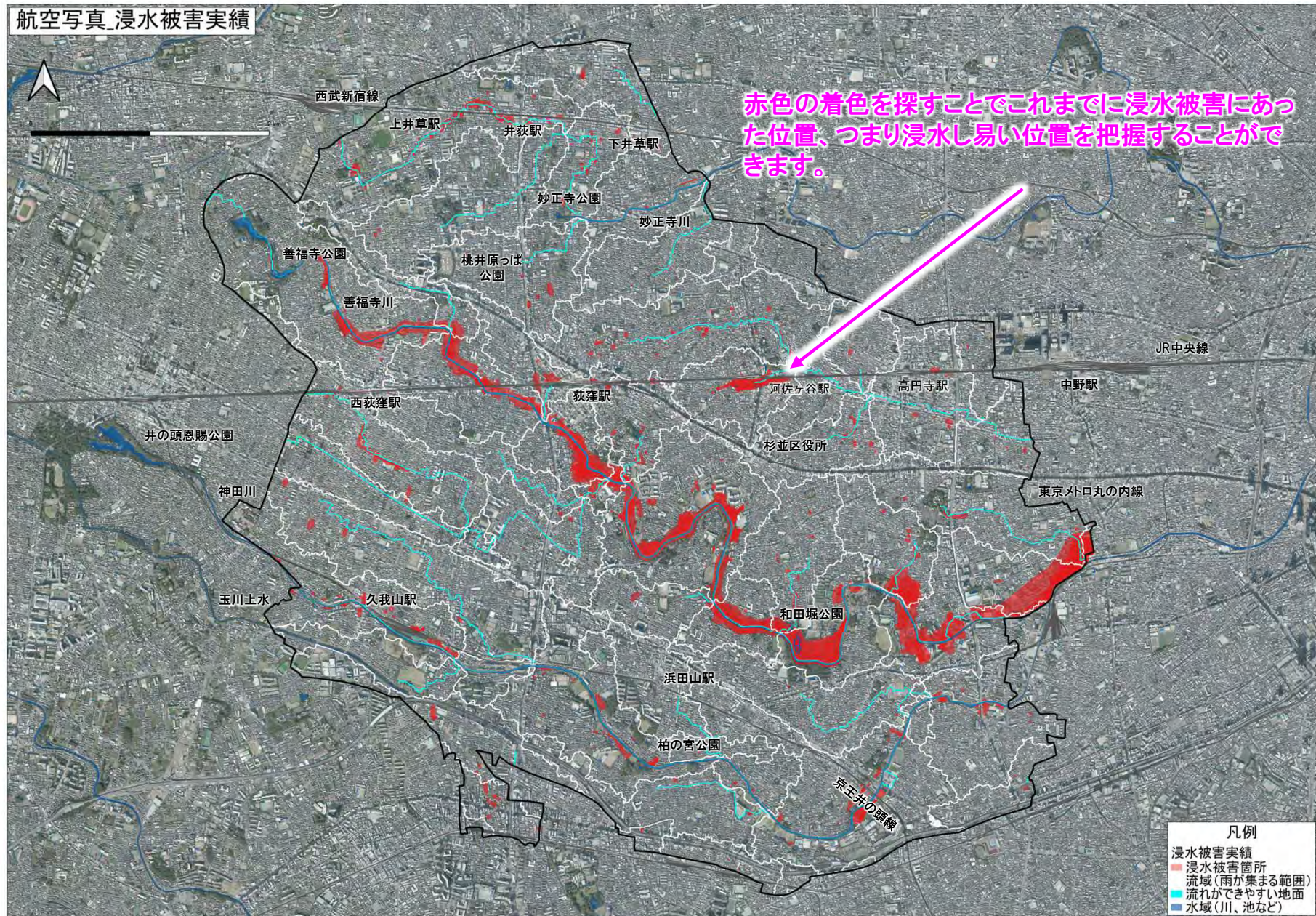
・建ぺい率60%以内の地域を整理しています。個人で雨庭等を造る際に、スペース確保が期待できる土地かどうかを把握することができます。



6. 浸水リスクの情報(浸水実績)

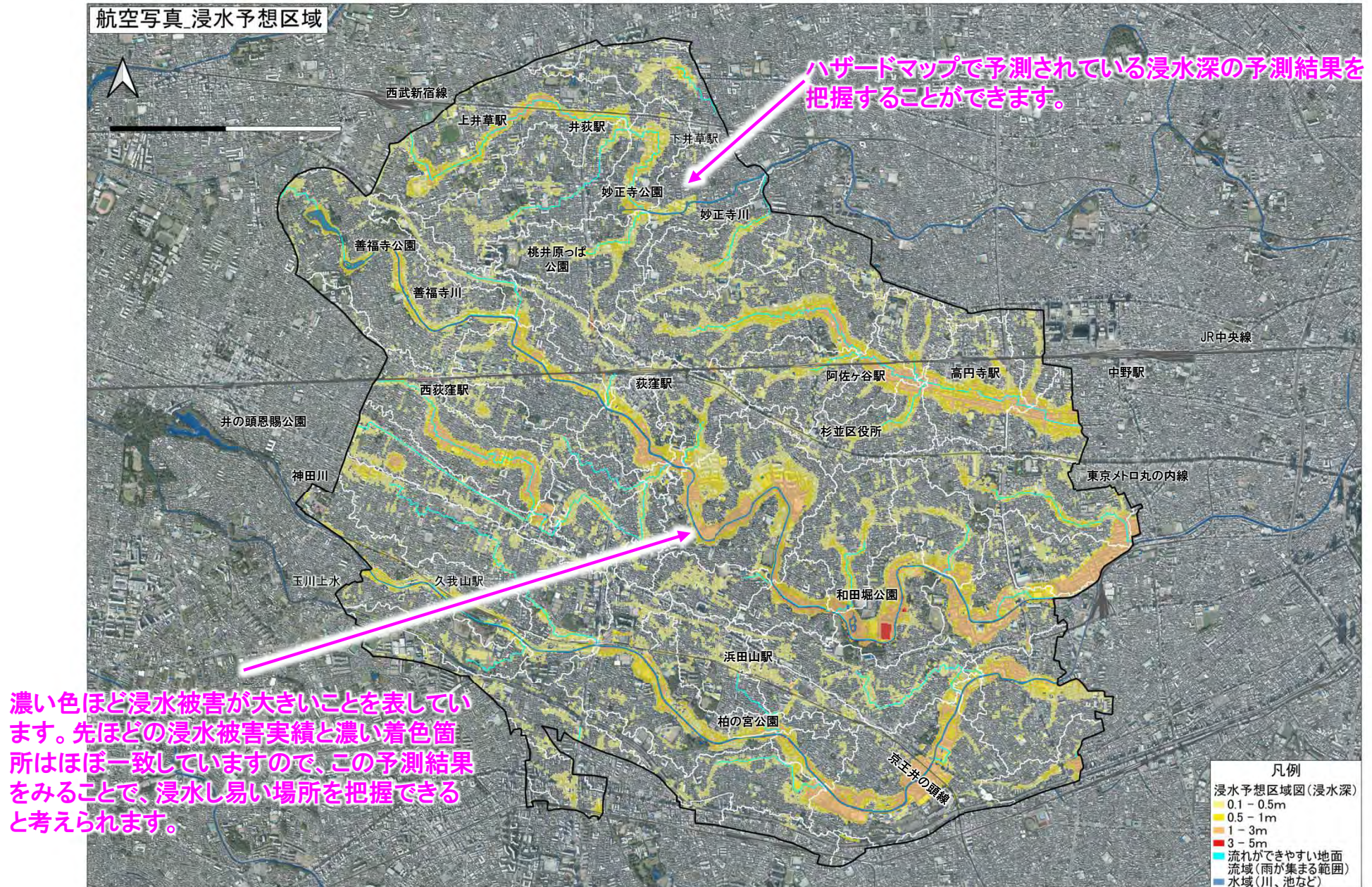
3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

・過去の浸水被害のあった場所を整理しています。地形的に浸水しやすい土地かどうかを把握することができます。



3. 杉並区のグリーン インフラの可能性の紹介 (ポテンシャルマップ)

・ハザードマップの浸水予想区域を整理しています。先ほどと同様に地形的に浸水し易い土地かどうかを把握することができます。



3. 杉並区のグリーン インフラの可能性の紹介 (ポテンシャルマップ)

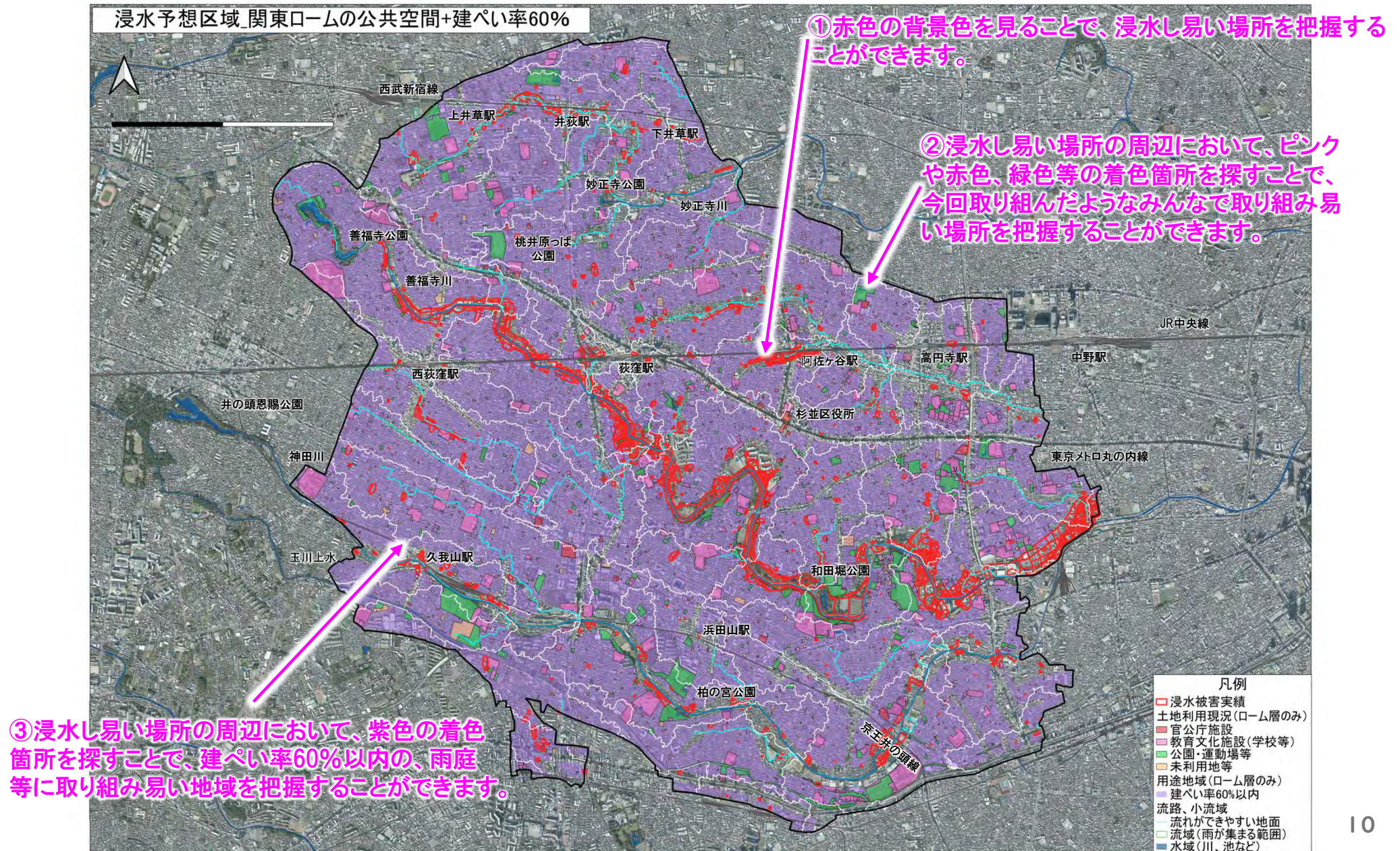
※囲いのない範囲：杉並区以外の場所へ排水



8. 効果が期待できるやりやすい場所

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

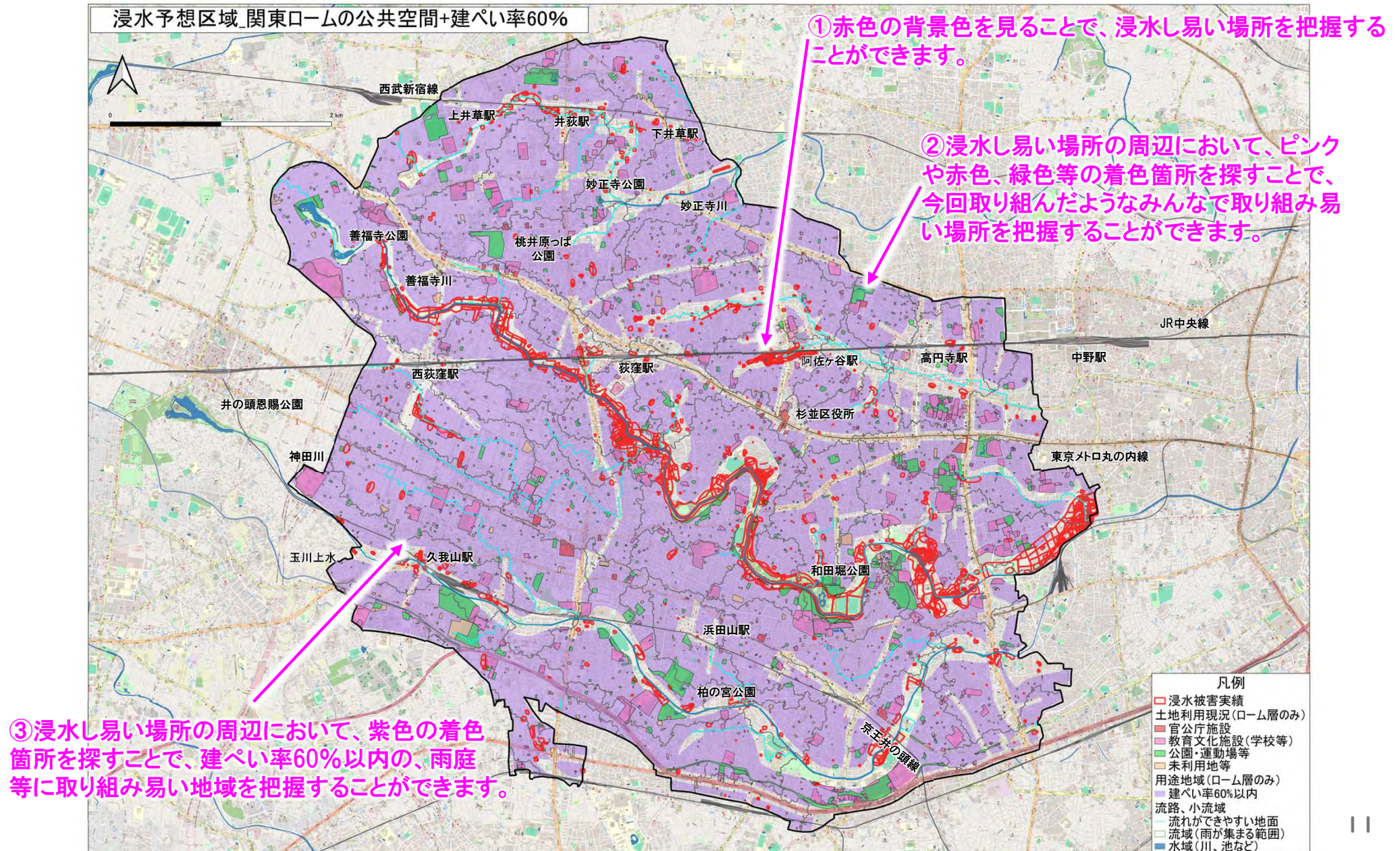
・関東ローム層の土地利用を重ね合わせたポテンシャルマップです。グリーンインフラを導入しやすい場所、かつ効果が期待される場所を把握することができます。



8. 効果が期待できるやりやすい場所

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

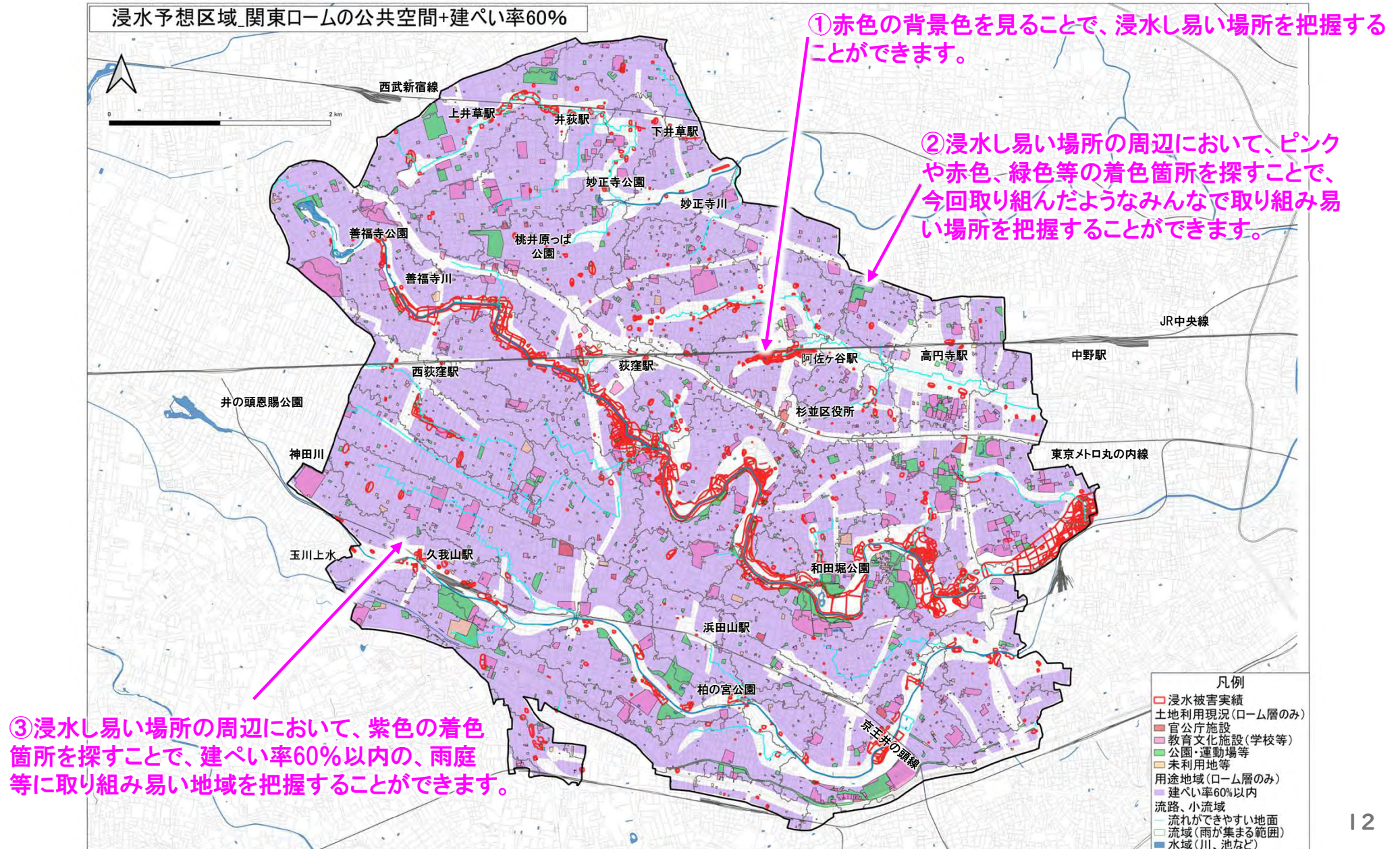
・関東ローム層の土地利用を重ね合わせたポテンシャルマップです。グリーンインフラを導入し易い場所、かつ効果が期待される場所を把握することができます。



8. 効果が期待できるやりやすい場所

3. 杉並区のグリーン
インフラの可能性の紹介
(ポテンシャルマップ)

・関東ローム層の土地利用を重ね合わせたポテンシャルマップです。グリーンインフラを導入し易い場所、かつ効果が期待される場所を把握することができます。



4. 杉並区のグリーンインフ ラビジョンを話し合おう (セッション1)

- どこでどんなグリーンインフラをやってみたいか、
できそうか(場所、やり方など)を考えてみよう
- なんで、やりたいと思ったかを整理してみよう

4. 杉並区のグリーンインフ ラビジョンを話し合おう (セッション2)

- 進めていく、広めていくには、続けていくには、
何が課題か、何が欲しいかを考えてみよう
(時間・ステップ、体制、役割分担、支援など)
- 今後、取り組んでいくためのキーワード集めや、
やりたいことの背景・ストーリーを整理してみよう
- 一番、盛り上がった内容、推しのストーリーについて、
グループとして発表したいものを整理しよう
(「土も人もほぐす杉並グリーンインフラ」とか)

5. 成果発表

グループごとの成果発表

- 各班、発表5分、質疑応答3分 合計8分
- セッション1、セッション2の内容を分けて紹介ください
- 発表内容はその場で、イラストにしていきます
(グラフィックレコーディング)

6. といまとめ総評

7. 今後の予定などの 事務連絡

- いただいたアイデアを踏まえ、年度内をめぐりに事務局にてグリーンインフラビジョンをとりまとめて参ります。
- 作成したビジョンはメールでの配信、および「すぎなみボイス」にて公開していく予定です。
- また、これで確定ではなく、今後もより良いビジョンとなるようにバージョンアップしていく予定です。
- 缶バッチ、ロゴシールを配布します。余分にお配りしますので、同じ志のご友人などにお配りください。
- 区役所からのお知らせ　～相談窓口など～